

三豊市文書館だより

七 宝

Vol.4

発行 三豊市文書館

平成 24(2012)年 9 月 28 日



大正天皇即位大嘗祭御用筵 だいじょうたい むしろ
大正四(一九一五)年

目 次

普及事業・・・・・・・・・・・・・ 2

秋期企画展

はじめての文書館 報告

職員研修・講演会 報告

文書の移管・整理・公開・・・・・・・・ 3

表紙の写真・・・・・・・・・・・・・・ 3

My Select ―資料整理の現場から― 4

文書館日誌・・・・・・・・・・・・・・ 4

普及事業

◎ 秋期企画展

「三豊と皇室 ～ 主基^{すきさいでん}斎田^{にいなめさいけんこくてん}と新嘗祭献穀田 ～」

平成 24(2012)年 10 月 1 日(月)から 11 月 29 日(木)まで開催しています。

今年は、三豊市豊中町に新嘗祭献穀田が置かれました。三豊市が誕生してからは、はじめて新嘗祭献穀田が設置されたのですが、旧町時代には各町に何度か設置されています。

また、大正天皇即位大嘗祭(だいじょうさい)では、香川県が主基地方に定められています。

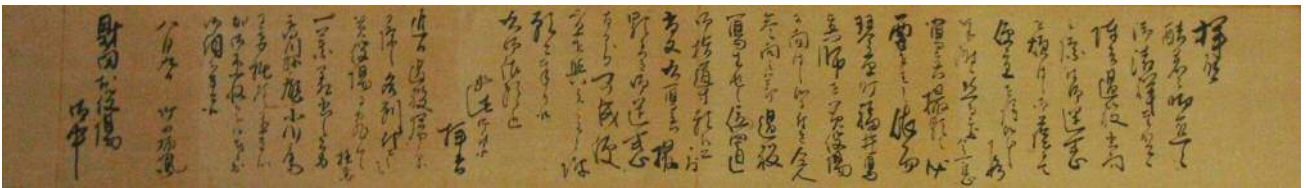
大嘗祭も新嘗祭も皇室に深く関わる行事です。秋期企画展では、これまでの三豊市内の新嘗祭献穀田と大正天皇即位の際の主基斎田に関する資料を紹介しています。

展示資料紹介

・財田村役場宛竹内栖鳳書状 大正4(1915)年

「主基(すき)地方風俗歌屏風」を描くために財田村(財田町)を訪れた竹内栖鳳が、世話になった財田村役場に礼を述べています。

また、写真撮影が必要となったため、琴平町の福井写真師を写生の地まで案内するなど、便宜を図るよう依頼しています。



※「財田村役場宛竹内栖鳳書状」は三豊市役所財田庁舎にて原本展示。企画展期間中は三豊市文書館にて写真パネル展示。

「主基地方風俗歌屏風」の原本は宮内庁三の丸尚蔵館所蔵。企画展期間中は三豊市文書館にて写真パネル展示。

◎ 国際アーカイブズの日・中国四国地区第7回アーカイブズウィーク 「はじめての文書館！ ～ 施設見学と利用方法 ～」報告



平成 24(2012)年 6 月 13 日(水)に、「国際アーカイブズの日」記念行事および中国四国地区第7回アーカイブズウィークの行事として開催しました。

文書館の役割や利用方法については、まだまだ市民には馴染みがないため、文書館の利用方法や文書館でおこなっている業務を体験してもらうことで、文書館についての認識を高めていただきました。

当日は 10 名の参加あり、目録作成業務などを体験していただきました。

◎ 三豊市職員一般研修（アーカイブズ研修）・三豊市文書館講演会
「公文書管理法と文書館 ～ 行政法の立場から～」報告



平成 24(2012)年 9 月 7 日(金)に、大宮法科大学院大学准教授・弁護士の早川和宏先生をお招きし、三豊市職員一般研修を文書館講演会として市民の方々にも公開して、開催しました。

早川先生には、なぜ文書管理が必要なのか、文書管理をおこなう効果、公文書とは誰のものかなどについてご講演いただき、三豊市の文書管理についてお話いただきました。また公文書管理法が制定された現在の文書館が担う役割についてもお話いただきました。

当日は、77 名の参加がありました。

文書の移管・整理・公開

◎ 各庁舎の保存期限満了文書の評価選別作業をおこなっています。

三豊市文書館では、8 月末より各庁舎の保存期限満了文書の評価選別作業をおこなっています。今年度は三豊市の保存期限満了文書だけでなく、各庁舎に保存されている旧町時代の保存期限満了文書の評価選別作業をあわせておこなっています。

現在は、仁尾庁舎での作業を終了し、三野庁舎で作業をおこなっています。今後も各庁舎をまわり、作業をおこなう予定ですので、ご協力をお願いします。

保管場所	文書区分	作業状況
山本庁舎	山本町保存期限満了文書	未着手
	三豊市保存期限満了文書	未着手
三野庁舎	三野町保存期限満了文書	作業中
	三豊市保存期限満了文書	未着手
豊中庁舎	豊中町保存期限満了文書	未着手
	三豊市保存期限満了文書	作業中
詫間支所	詫間町保存期限満了文書	未着手
	三豊市保存期限満了文書	未着手
仁尾庁舎	仁尾町保存期限満了文書	終了
	三豊市保存期限満了文書	終了
財田庁舎	財田町保存期限満了文書	未着手
	三豊市保存期限満了文書	未着手
学校給食センター	三豊市保存期限満了文書	未着手

表紙の写真
— 秋期企画展より —

大正天皇即位大嘗祭御用筵

大正 4 (1915) 年

大正 4 (1915) 年の大正天皇即位大嘗祭(だいじょうさい)に際し、笠田村(豊中町)から筵(むしろ)が献納されました。箱蓋裏書によれば、同じ田からとれた藁を使い、2 つの筵を製作し、一方を献納し、一方を村の神社(宇賀神社カ)に納めたといひます。写真は神社に伝来したものです。



三豊市は、7町それぞれに庁舎があります。今回は仁尾庁舎が今の場所に建設される前のことから、本当に極わずかな記憶をひも解いてみます。

仁尾町総合福祉会館の左隣は、交差点の近くの一角の今もある竣工記念碑と植物で覆われた日よけと水飲み場とベンチとがあるくらいで、あとは広い空き地でした。

当時はどうしてここだけ建物がないのだろうと、子ども心に思ったものです。

そこでは一度だけ、テレビ番組ポンキッキーズの全国キャラバン('98ひまわりキャラバン)から、マスコットキャラクターのPちゃんやムックも訪れて、周辺の町民も大集合し、テレビ中継もありました。

夏の仁尾竜まつりでは、その空き地にいくつもの屋台も立っていたりして、賑わったものです。

そして、仁尾町総合文化会館(図書館)のある駐車場の道路沿いに旧仁尾役場があり、もう20年以上前になりますが、その近くには幼稚園もありました。旧平石幼稚園の施設の一部は現存しているようです。

現在は、三豊市立仁尾小学校の付近に、幼稚園、保育所も移されてそろってありますので、利便性は上がっているのかもしれないね。

保育所が元あった場所は、コンクリートの駐車場に変わり、面影も消えて世の中が移り変わっていく少しの切なさや、懐かしさで、こういった建物の移動だけでも町内の歴史が生まれ続いて行く事を、身近に感じることが出来ます。

文書館ではそういった昔の施設の懐かしい写真も保存されており、まだ一般には公開されておきませんが、やはり人の記憶や思い出だけでは、いつか薄れていき消えてしまうものですから、時間が経つにつれて「日付や当時の出来事がきちんと書かれた文書や記録を残す…この大切さ」に少しでも、文書館だより『七宝』より気づいていただければ幸いです。

(臨時職員 坂田 りつ子)



仁尾庁舎、建設以前(平成11・1999年)

文書館日誌

(6月29日～9月28日)

- 7. 2 夏期企画展 開催 (～9.14)
NHK 岡山放送局 大久保謙之丞 取材
- 7. 4 財田町遺族会関係資料 寄託受入
- 7.11 箱浦幼稚園文書の搬入
- 7.21 文書館修繕工事 (～8.30)
- 8.10 マリンウェーブ文書の搬入
- 9. 7 職員研修・講演会開催
- 9.19 仁尾庁舎文書 搬入
- 9.26 三豊・観音寺史跡探訪の会 文書館見学

イラスト：臨時職員 白井 孝子

三豊市文書館だより「七宝」vol. 4
発行 平成24(2012)年9月28日

編集発行 三豊市文書館

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西375番地

TEL 0875-63-1010

FAX 0875-63-1006

